

登録コード	ASP03600	開講年度	2026				
授業科目	地域環境共生学特別演習					担当教員	大窪 久美子
英文授業名	Advanced Seminar for Rural Environmental Planning					副担当	鈴木 純
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	修士2年生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				地域環境の側面からアプローチしている論文を読解し, 地域環境共生学に関する論文の作成方法やプレゼンテーション能力を向上させることができるようになる。		
授業の概要	・ 地域環境に関するさまざまな研究論文を読むとともに、各課題に応じた適切な科学的研究手法について実際に体験し、解析、取りまとめ、討論、発表についてを演習する。						
Contents:	以下 ～ のいずれかのテーマについてゼミ形式での議論や調査、データ解析、取りまとめ、発表について実戦的に修学する。レポート課題やレジメ作成などを課すことがある。 地方都市の城下町の緑地環境 農山村の生活基盤と生産基盤の環境 農村における生産環境の地域特性と評価 林野利用の諸形態と森林の環境 土地利用と地域景観を規定する自然環境の特性 野生動物の保護管理のための生態学的研究手法 里地里山における生物多様性保全の生態学的研究手法 地域環境共生学						
授業計画	() 内の数字は開講時限数で5時限/1日を最大としている。 第1回：里地里山における生物多様性保全の生態学的研究手法 (5) (担当 大窪) 第2回：農山村の生活基盤と生産基盤の環境 (5) (担当 内川) 第3回：農村における生産環境の地域特性と評価 (5) (担当 鈴木) 第4回：林野利用の諸形態と森林の環境 (5) (担当 三木) 第5回：土地利用と地域景観を規定する自然環境の特性 (5) (担当 上原) 第6回：野生動物の保護管理のための生態学的研究手法 (5) (担当 池田) 第7回：里地里山における生物多様性保全の生態学的研究手法 (5) (担当 大窪) 第8回：総合討論 (5) (担当 全員)						
成績評価の方法	毎回行うレポートにより、総合的に評価する。秀：90点以上、優：80～89点、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。						
成績評価の基準	レポートにおいて座学での内容を理解できており，論文講読やプレゼンテーションに反映されていれば「水準にある」， 論文読解と演習を踏まえ，適切な提案がされていれば「やや上にある」， 課題解決にあたり，他の文献を効果的に使えていれば「かなり上にある」， さらにプレゼンテーションで以上の事柄を明確に伝えていれば「卓越している」。						
事前事後学習の内容	複数の教員が担当しますので，内容の変更等があるばあいは，それぞれの教員から通知されます。						
履修上の注意	広い視野と多くの基礎知識を必要とします。授業計画を参照し，関連する基礎的知識については予習を心がけてください。						
質問,相談への対応	随時メールで受け付けます。						
学生へのメッセージ	考察を深めるための議論を行いましょう。						
【教科書】	随時教員から提示する。						
【参考書】	随時教員から提示する。						